

佐野市文化会館で公演 コラボで魅力PR

ももクロが 栃木にやってきた



佐野市で公演したももいろクローバーZ = 17日、佐野市文化会館 写真：塚田亮平

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686下野新聞社
デジタル局

電話：028-625-1041

下野新聞
SOON
Shimotsuke Original Online News

特別号

百田夏菜子、玉井詩織、佐々木彩夏、高城れにの4人によるアイドルグループ「ももいろクローバーZ」(ももクロ)が17日、佐野市文化会館で『MOMOIRO CLOVER Z 6th ALBUM TOUR “祝典” “おいでよ佐野市”』を開催し、会場に駆け付けたモノノフ(ももクロファン)を熱狂させた。当初は2020年に開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの影響で延期となり、待望の「祝典」がようやく実現した。

ステージには金子裕市長や市ブランドキャラクター「さのまる」も登場し、集まったモノノフたちに佐野市をPRした。コンサートは午後6時半にスタート。5月に発売したアルバム「祝典」の収録曲「PLAY!」など全16曲を熱唱した。会場ではももクロと地元企業がコラボして開発された独自の商品「ミツハフルーツソー」ももクロコラボラベル、「ももクロ×さのまる」コラボマフラータオルや「ポテトチップス桃すっぱい味」などが販売され、大いに賑わった。

また、佐野高校と付属中学の生徒が中心となって佐野市の魅力を伝える「佐野高校ももクロプロジェクト」と題したももクログッズ展やデジタルスタンプラリーも開催されるなど、地域一体となってももクロを歓迎し、市のPRにつなげた。